

Advance

「MY」から「OUR」へ ～分かち合えるリーダーたち～

スキー宿泊学習では、7年生は、想像以上に成長した姿を見せてくれました。スキーの技術向上はもちろんですが、それ以上に心を動かされたのは、人との関わり方です。実行委員としての責任ある動き、縦割り宿泊班での5・6年生への関わり、インストラクターの方への受け答え、ホテル従業員の方への礼儀や感謝。そのどれもが、中学生らしく、SOLANの代表、5・6年生のお手本として、実に温かく、誠実で、心配りのあるものでした。

先生から指示されたから動くのではなく、「どうしたらみんなが安心できるか」「どうしたら全体がよくなるか」を自分たちで考え、自然に行動していました。私はその姿に、何度も胸が熱くなりました。

そのような7年生の姿を見て、「リーダーシップとして大切なこと」として思い出した文章があります。紹介します。

「私だけが持っている」ことに喜びを感じるの、品のない考え方です。

みんなで共有しようとするのが、品のある考え方です。

「共有」ではなく「占有」の考え方になると、ヤキモチをやきます。

ひとり占めして自分だけが得しようとするのは、品のない行為です。

品は、共有しようとすることです。

「この会社はオレのものだ」と思っている経営者は、会社を社員と共有している意識がありません。

こういう人は、品のない社長、品のないリーダーになります。

「MY」ではなく「OUR」の考え方が、品になるのです。

自分とまわりを切り離して考えないことです。

「OUR」の考え方では、自分に利益が入らなくても、社員に利益が入ったら、それは自分に利益が入ったのと同じことになるのです。

銀行強盗は、お金の分配で仲間割れが起こることでしくじります。

リーダーの取り分が一番多い強盗団は、裏切りが起こります。

捕まらないのは、均等分配で文句が起きない強盗団です。

捜査する警察も巧妙で、3億円強奪されたら、新聞には「4億円強奪された」と発表します。

「3億円と聞いたけど、4億円あったんじゃないか。自分の取り分が少ない」と仲間割れをさせるためです。

「警察のウソの情報に惑わされるな」と言った時に、信用してもらえるリーダーかどうかで分かれるのです。

奪い合うと、減ります。分かち合うと、増えます。

奪おうとすると、奪おうとする人を引き寄せます。

分かち合おうとすると、分かち合おうとする人を引き寄せるのです。

中谷彰宏：著 「品のある稼ぎ方・使い方」(ぱる出版)

スキー宿泊学習での7年生の姿は、まさにこの「MY」ではなく「OUR」の在り方そのものでした。

自分が楽しむだけでなく、下級生が楽しめているかを感じかける。自分が上達するだけでなく、仲間の成功を喜ぶ。自分の役割を果たすだけでなく、全体が円滑に進むよう動く。それは、奪い合うリーダーではなく、分かち合うリーダーの姿でした。

そしてその姿は、学校に帰ってきてからも続いています。探究の時間やスナックタイムに、これまで以上に5・6・7年生が自然に交流する姿が見られます。宿泊学習で芽生えた「OUR」の感覚が、日常へと根づいていることを嬉しく感じています。

ここで、私自身の想いも少しだけ伝えさせてください。「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる」とは、詩人・相田みつをさんの言葉です。与えるものは人それぞれ。お金、モノ、知識や知恵など、形はさまざまです。

スキーのインストラクターさんであれば技術、ホテルの従業員さんであれば快適な空間と「おもてなし」でしょうか。そうした働く方々の姿から、私たちは多くを学んでいます。特に学ぶべきことは、与えてやる、くれてやる、教えてやる、という心持ちではなく、どんな時も自然に与えられる人でありたい、という在り方です。

何のために学ぶのか。何のために仕事をするのか。その答えの1つに、「誰かを喜ばせるため」があります。家族のため、生徒のために、「よし、やろう!」と思える。この学年通信を毎週読んでくださる7年生や保護者の皆さまがいるからこそ、少しでも役に立ちたい...そんな想いで日々学び、発信しています。

7年生は、これまで、人を思いやる力・全体を見渡す力・分かち合う心を育ててきました。だからこそ次の1年は、SOLANを支える「OURの中心」として歩いていくことになります。

誰かの成功を自分の喜びにできる人。誰かの困りごとを自分ごととして動ける人。与えることを惜しまない人。そんなリーダーが増えたとき、学年はもちろん、学校全体がもっと温かく、強くなります。

今年度も残りわずかです。最後の一日まで、子どもたちと共に学び、共に成長しながら、胸を張って次の学年へと進んでいけるよう支えていきます。そして来年度も、この学年の歩みを楽しみにしながら、引き続き皆さんと一緒に成長していけることを、心から望んでいます。

来週の通信も、どうぞよろしくお願いいたします。

[聴くClassNewsletterはこちら](#)

We will value "Purpose" and "Ownership" for you